

STAR **ライムゾーク**

取扱説明書・部品表

製品コード

K82030

型式

HLS1270

部品供給型式

HLS1270-01

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社



安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて



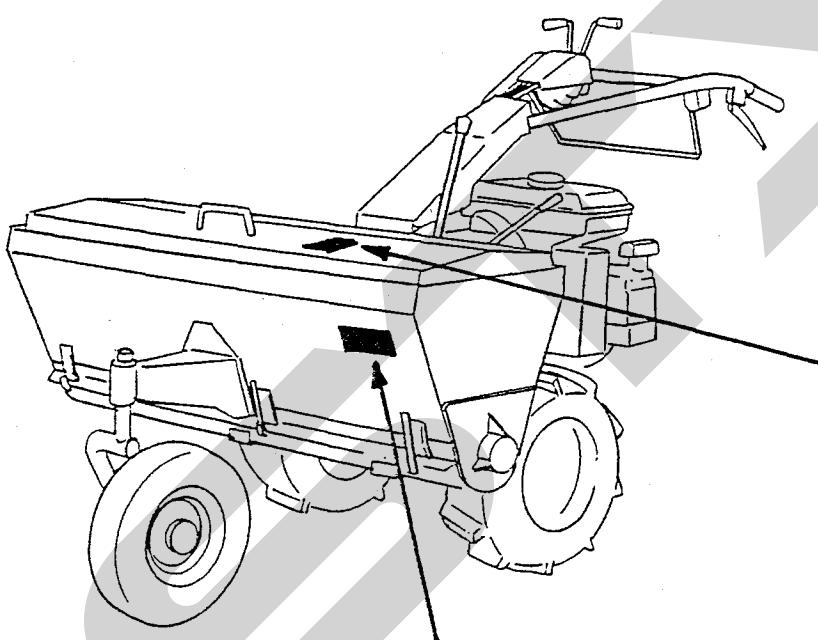
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。



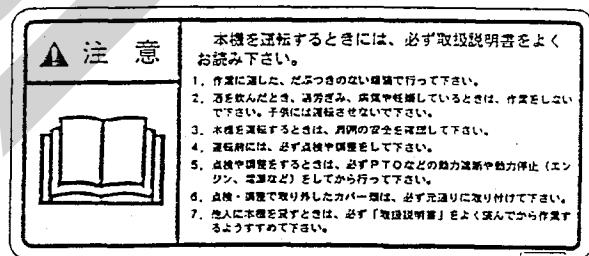
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



部品番号 106495



部品番号 106419

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。
ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびティラーの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてから行ってください。

作業前に

—取扱説明書は製品に近接して保存を—

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こしケガをする事があります。
取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

—取扱説明書をよく読んで作業を—

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。
作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

—こんな時は運転しないでください—

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。
次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

—服装は作業に適していますか—

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。
次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。

- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はしまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

—機械を他人に貸す時は—

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。
取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

—機械の改造禁止—

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。
機械の改造はしないでください。
アタッチメントは当社指定製品を使用してください。
部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

—始業点検をする時は—

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。
作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

—エンジン始動・発進する時は—

▲警告

- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。
窓、戸などを開け、十分に換気してください。

▲注意

- エンジンを始動する時、走行クラッチ及びP T Oクラッチを切り、チェンジレバーを「N」にして、行わないといと、ティラーが暴走したり、作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
走行クラッチ・P T Oクラッチを切り、チェンジレバーを「N」にして行ってください。

作業機を着脱する時は

▲注意

- 作業機をティラーに着脱する時、エンジンをとめずに行うと、誤操作によりティラーが暴走したり、不意に作業機が回転し思わぬ事故を起こすことがあります。
エンジンをとめ、回転部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をティラーに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、ティラーが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

移動走行する時は

▲警告

- 坂道でサイドクラッチを操作すると、ティラーが思わぬ方向に急旋回し、事故を起こす事があります。
速度を遅くしてハンドル操作で旋回してください。
- 後進する時、足元や後方に障害物があると、転倒しティラーに巻き込まれたり障害物との間に挟まれてケガをすることがあります。
障害物をさけ、低速で後進してください。

▲注意

- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しそすぎると、転倒事故を起こすことがあります。
低速走行してください。
- 高速で走行する時、旋回のためにサイドクラッチを切るとティラーが急旋回し、思わぬ事故をまねくことがあります。
ハンドル操作で旋回してください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。
路肩は走行しないでください。
- 高低差が大きい段差を乗り越えようとすると、ティラーが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。
あゆみ板を使用してください。

作業中は

作業する時は

▲警告

- ハウス内などの室内作業をする時、排気ガスにより中毒になる事があります。
窓、戸などを開け、十分に換気をしてください。
- 運転中又は回転中、アジデータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。
手を入れないでください。

▲注意

- 傾斜地で走行クラッチを操作したりチェンジレバーを「N」にすると、暴走する事があります。
走行クラッチ、チェンジレバーを操作しないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。
P T O クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部がとまっていることを確めて行ってください。

本機から離れる時は

▲注意

- 本機から離れる時、ティラーのエンジンをとめずに傾斜地や凹凸地などに駐車すると、第三者の不注意によりティラーが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、ティラーのエンジンをとめてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は――

▲注意

- エンジンをとめずに、回転部の付着物の除去作業などを行うと、誤操作または第三者の不注意によりティラーが暴走したり、不意に作業機が回転し、巻き込まれてケガをすることがあります。
P T Oクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検をする時は――

▲注意

- エンジンをとめず点検すると、誤操作または第三者の不注意によりティラーが暴走したり、不意に作業機が回転し、巻き込まれてケガをすることがあります。P T Oクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部がとまっていることを確かめてから行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、ティラーや作業機が不意に動き出して、ケガをすることがあります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに行うと、誤操作または第三者の不注意により、ティラーが暴走したり、不意に作業機が回転し、思わぬ事故を起こすことがあります。
P T Oクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のため外したカバー類を取り付けずに作業すると作業時、回転部に巻き込まれ、ケガをすることがあります。
元通りに取り付けてください。

もくじ

A

安全に作業するためには

安全に関する警告について	.. 1	作業が終わったら	.. 4
作業前に	.. 2	不調処置・点検・整備をする時	.. 4
作業中は	.. 3		

1

ティラーへの装着

1 各部の名称とはたらき	.. 7	4 ティラーへの装着	.. 8
2 適応ティラー	.. 8	1. ティラーへの連結 8
3 組立部品	.. 8		
1. 解梱 8		
2. 組立部品の明細 8		
3. 組立要領 8		

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検	.. 9	2 給油箇所一覧表	.. 9
1. ティラー各部の点検 9		
2. 連結部の点検 9		
3. 製品本体の点検 9		

3

作業の仕方

1 本機の使用目的	.. 10	3 作業要領	.. 11
2 作業のための調整	.. 10	4 運搬	.. 11
1. 敷用量の調整 10	5 オプション部品	.. 11
2. エンジン回転数の調整 10		
3. ティラーの車速 10		

4

作業が終わったら

1 作業後の手入れ … 1 2

2 ティラーからの切り離し … 1 2

3 長期格納する時 … 1 2

5

点検・整備について

1 点検整備一覧表 … 1 3

2 各部の調整 … 1 3

1. シャッタ位置の調整 …… 1 3

2. ソコイタとシャッタの
隙間調整 …… 1 3

6

不調時の対応

1 不調処置一覧表 … 1 4

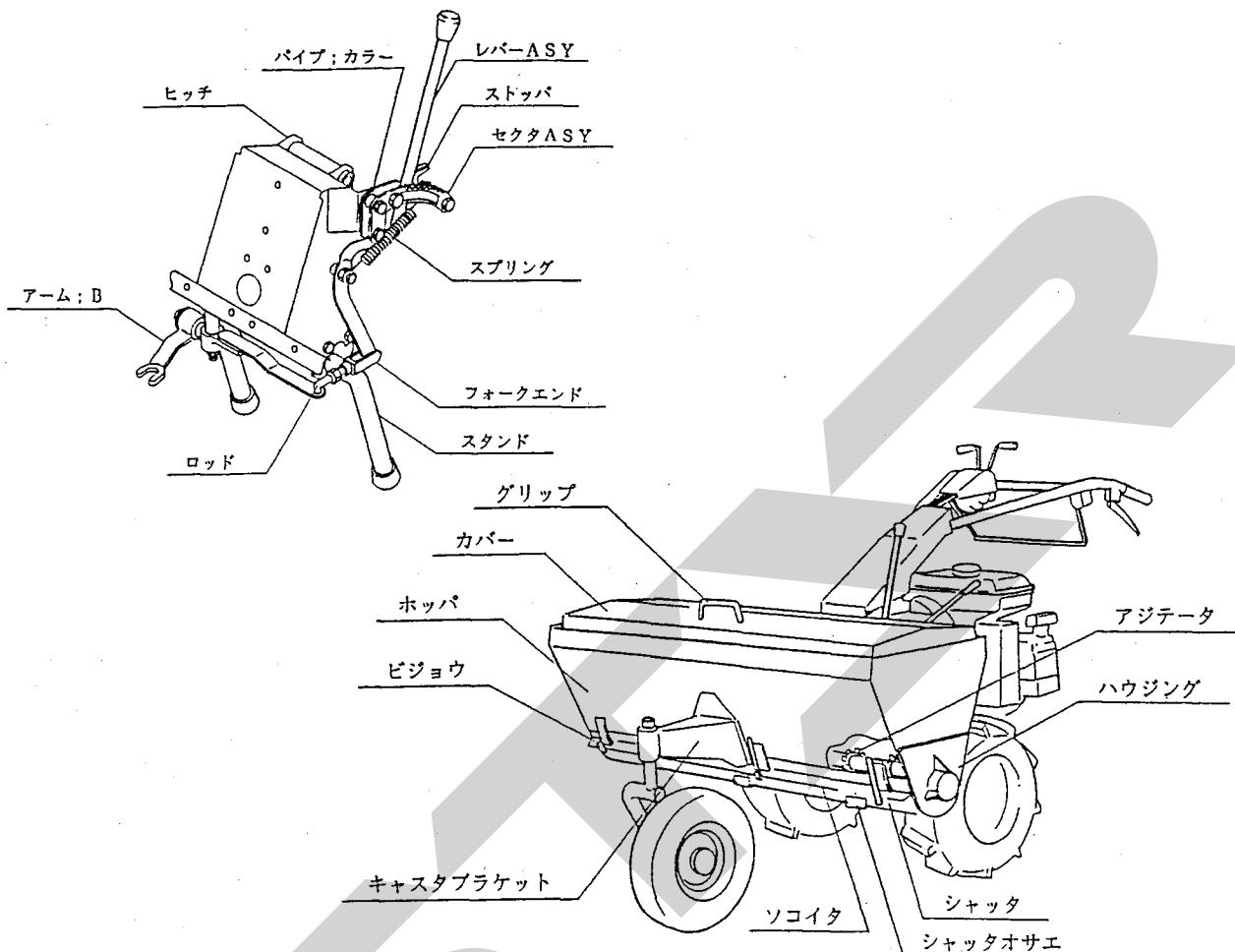
7

部品表 ……………… 1 5

1 ティラーへの装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



1. ヒッチ
本機とティラーを連結します。
2. スタンド
本機をティラーから切り離した時に、本機の姿勢を維持するために使用します。
3. ホッパ
肥料、石灰を入れるタンクです。
4. ソコイタ
ホッパ下側の板で、肥料の落下口があります。
5. シャッタ
肥料の落下口の開度を変えます。
6. ビジョウ
ソコイタをホッパに固定します。
ビジョウを外すと、ソコイタが開きます。
7. シャッタオサエ
シャッタがスライドするように取り付けます。
8. アジテータ
肥料、石灰を落下口から繰り出します。
9. レバー
肥料、石灰の散布開始および終了をこのレバーの押し引きにより行います。
手前に引くと肥料の落下口が開き、押すと落下口が閉じます。
10. ストップ
散布量を調整します。
11. フォークエンド
レバー全閉時に肥料の落下口が全閉となるようフォークエンドで微調整します。
12. アーム; B
シャッタを動かします。

2 適 応 テ イ ラ ー

本製品は、ティラー（ニューファームメイト）との装着により的確に性能を発揮できるよう設計されています。

この製品の適応ティラーは次のとおりです。

- ・ H T K 8 0 7 0
- ・ H T M 8 0 7 0
- ・ H T Y 8 0 7 0

3 組 立 部 品

1. 解 槍

木枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

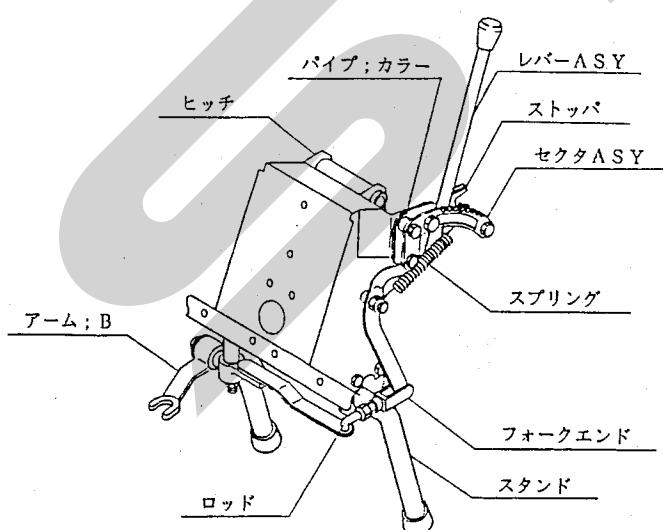
梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品がそろっているか確認してください。

3. 組立要領

各部品の組立に必要なボルト・ナット類は、梱包明細の備考欄に「使用する部品の符号」を記載していますので、参照してください。

下記の順序に従って組み立ててください。

- (1) スタンドを立て、本機を水平状態にします。
- (2) セクタ AS Yをヒッチにパイプ；カラーとボルト；M 8 × 4 5で取り付けます。
- (3) レバー AS Yをヒッチにワッシャ；M 1 0とナイロンナット；M 1 0で取り付けます。
- (4) スプリングをストップとヒッチのレバー AS Y取付部に引掛けます。



- (5) フォークエンドをレバー AS Yに取り付けます。
- (6) レバー全開時に肥料の落下口が全開となるように、ロッドのネジ長さをフォークエンドで調整してください。
- (7) グリップをカバーにスプリングナット；M 8で取り付けます。

3 テ イ ラ ー へ の 装 着

1. ティラーへの連結

A 注意

●作業機をティラーに着脱する時、エンジンをとめずに行うと、誤操作によりティラーが暴走したり、不意に作業機が回転し、思わぬ事故を起こすことがあります。

エンジンをとめ、回転部がとまっている事を確かめて行ってください。

●作業機をティラーに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、ティラーが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

- (1) ティラーのヒッチロックレバーを「解除」にしてください。
- (2) ティラーの走行クラッチレバーと PTO クラッチレバーを「切」にし、チェンジレバーを「N」にしてください。
- (3) エンジンを止めてください。
- (4) ティラーのハンドルを最下段にしてください。
- (5) ティラーのスタンドを折りたたみ、ハンドルを持ち上げるようにしてヒッチ部を合わせ、ハンドルを下へ押し下げてください。
- (6) ティラーのヒッチロックレバーを「ロック」してください。
- (7) 本機のスタンドを折りたたんでください。

取扱い上の注意

PTO ジョイントが入らない時は、本機をティラーから切り離してください。
PTO クラッチレバーを「入」にして、エンジンのスタータノブを少し引き、PTO ジョイントの位置を変えて、最初からやり直してください。

2 連転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運 転 前 の 点 検

1. ティラー各部の点検

ティラーの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

(1) ティラーと本機の連結部点検

- ① ティラーのヒッチロックレバーが「ロック」になっているか。
- ② ティラーのスタンダードが折りたたまれているか。
- ③ 本機のスタンダードが折りたたまれているか。
- ④ 不具合が見つかった時は、「1-4-1 ティラーへの連結」の説明に基づき不具合を解消してください。

3. 製品本体の点検

- (1) 各ボルト、ナットのゆるみはないか。
不具合が見つかった時は増し締めしてください。
- (2) シャッタの開閉レバーは軽く作動するか。
不具合が見つかった時は「6-1 不調処置一覧表」の説明に基づき不具合を解消してください。
- (3) タイヤの空気圧は十分か。
不具合が見つかった時は空気圧が 275 KPa (2.8 kg/cm²) になるように調整してください。
- (4) 各部の給油は十分か。
油脂が不足している時は、「2-3 紙油箇所一覧表」の説明に基づき、給油してください。

2 紙油箇所一覧表

- 紙脂するグリースは清浄なものを使用してください。
- グリースを紙脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。

No	給脂場所	箇所	潤滑油の種類	交換時期	量	備考
1	ギヤケース	1	ギヤオイル；VG 220	100時間毎	0.23 l	
2	ハウジング	2	グリース；2号	使用毎	適量	グリースニップル
3	キャスターブラケット	1	"	"	"	"
4	アーム；B	1	"	"	"	"
5	レバー回動支点	1	オイル	"	"	注油

3 作業の仕方

1 本機の使用目的

本機は、粒状肥料（高度化成など）、砂状肥料（ヨーリンなど）、粉状肥料（石灰など）の散布に使用します。
他の用途には使用しないでください。

2 作業のための調整

1. 散布量の調整

散布量は、下記のグラフを参照して開度を決めてください。

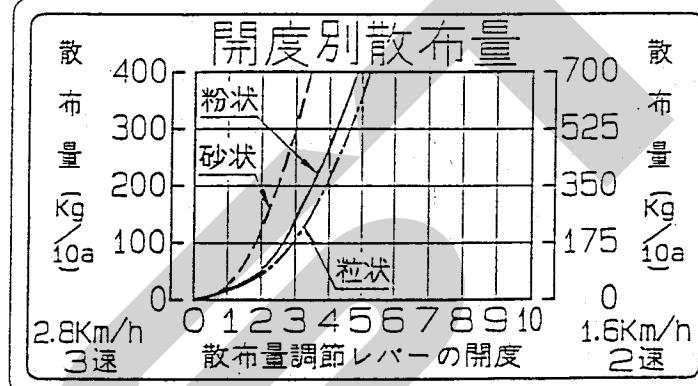
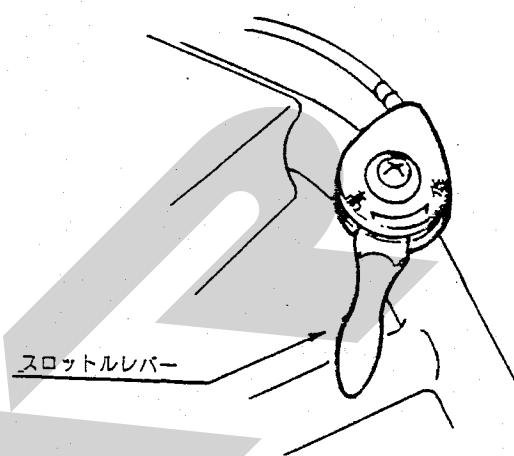
決めた開度の位置にストップを移動してください。

なお、このグラフは本機のカバーにも貼り付けてあります。

このグラフはおよその目安ですので、正確な散布が必要な場合は時間当たりの落下量を実測し、開度調整を行ってください。

2. エンジン回転数の調整

エンジン回転数はスロットルレバーを「低」と「高」の3分の2の位置（1600 rpm）に合わせて、作業してください。



3. ティラーの車速

車速	変速	エンジン回転数
2.8 km/h	3速	1600 rpm
1.6 km/h	2速	

(例)

石灰（粉状肥料）を10アール当たり150kg散布したい場合、ティラー車速2.8km/h（3速）で開度3にストップをセットします。

なお、肥料の種類は、次の3種に大別しております。

- ・粒状肥料（例；高度化成など）
- ・砂状肥料（例；ヨーリンなど）
- ・粉状肥料（例；石灰など）

3 作 業 要 領

A 警 告

- ハウス内などの室内作業をする時、排気ガスにより中毒になる事があります。窓、戸などを開け、十分に換気をしてください。
- 運転中又は回転中、アジテータに接触すると巻き込まれ、ケガをすることがあります。
手を入れないでください。

A 注意

- エンジンを始動する時、走行クラッチ及びPTOクラッチを切り、エンジンレバーを「N」にして行わないと、ティラーが暴走したり、作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
走行クラッチ・PTOクラッチを切り、エンジンレバーを「N」にして行ってください。

1. 肥料、石灰等の散布物
乾燥したものを使用してください。
湿ったものはホッパ内で固まったり、散布ムラの原因となります。
2. 肥料の投入
移動中の振動による固まりを防ぐため、肥料の投入は、圃場に着いてから行ってください。
作業前にホッパ容量と散布量を考慮し、あらかじめ圃場各所に肥料を置いておくと能率の良い作業ができます。

4 運 搬

1. ホッパは空にしてください。
2. PTOクラッチを切ってください。
3. ティラーと本機のスタンドが折りたたまれていることを確認し、移動を開始してください。

5 オ プ シ ョ ン 部 品

石灰が湿っていたり、微粉状の石灰の場合、石灰がブリッジ状になって、アジテータに接触しなくなり、散布ムラや散布ができなくなることがあります。

このような場合はアジテータに下記部品を取り付けてください。

1. 次の部品を別途注文してください。

部品番号	部品名称	個数
92546	バー ; 490	4
BC0615A	ボルト ; M6×15(ステンレス)	12

2. 左右のアジテータにバー ; 490 を各2本ずつ、180度の位相にして、ボルト ; M6×15で取り付けてください。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

A 注意

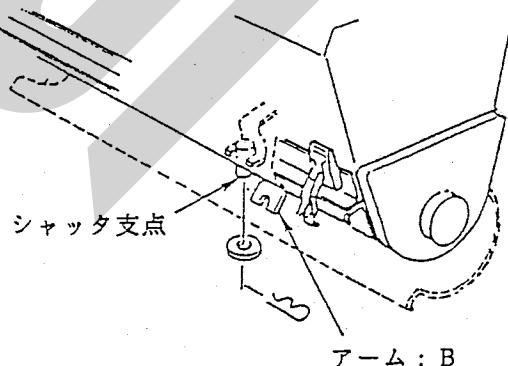
- PTOクラッチ及びエンジンを切らずに、回転部の付着物の除去作業などを行うと、誤操作または第三者の不注意によりティラーが暴走したり、不意に作業機が回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
PTOクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. ボルト、ナット、ピン類のゆるみ、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増し締め、部品の交換をしてください。
2. 本機は清掃点検を容易にするため、ソコイタを解放できる構造となっています。
作業終了時はソコイタを解放して肥料をきれいに取り除いてください。
特に、ソコイタとシャッタの間はシャッタを動かしながら、又はシャッタを左右に引き抜いて清掃してください。

(1) ソコイタの解放要領

- ① レバーを開度0の位置にする。
- ② シャッタ支点より、ベータピン・ワッシャを取り外し、アーム；Bを下方にします。
- ③ 尾錐をホッパ両端より外し、最後に中央付近を外します。
最後の尾錐を外す時は、ソコイタを急激に落さぬよう、手を添えておろします。



(2) ソコイタの装着要領

- ① ハウジング（ホッパ両端）及びホッパ下部（前後両側）に取り付けているゴム製シールに付着したゴミ、肥料などを取り除いてください。
- ② ソコイタの装着は、解放時の逆の手順で行います。

- ③ カバー、ビジョウ、レバー支点など動く部分には、注油してください。

3. ティラーから本機をはずす時は、スタンドを立ててから行ってください。

2 ティラーからの切り離し

A 注意

- 作業機をティラーに着脱する時、エンジンをとめずに行うと、誤操作によりティラーが暴走したり、不意に作業機が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめ、回転部がとまっている事を確かめて行ってください。

- 作業機をティラーに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、ティラーが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

1. ティラーの走行クラッチレバーとPTOクラッチレバーを「切」にし、チェンジレバーを「N」にしてください。
2. エンジンを止めてください。
3. ティラーのハンドルを最下段にしてください。
4. 本機のスタンドを折りたたんでください。
5. ティラーのヒッチロックレバーを「解除」にしてください。
6. ティラーのハンドルを上に持ち上げるようにして、切り離してください。
7. 後方へ移動して、ティラーのスタンドを立ててください。

3 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 磨耗した部品、破損した部品は交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点および摺動部には注油してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、錆の発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。
6. やむをえず屋外に保管する時は、シートをかけてください。

5 点検・整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従い、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

A 注意

- エンジンをとめずに行うと、誤操作または第三者の不注意により、不意に作業機が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。

PTOクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部がとまっている事を確かめて行ってください。

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、ティラーや作業機が不意に動き出して、ケガをする事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。

1 点 検 整 備 一 覧 表

時 間	点 検 項 目	処 置
新品使用1時間	・全てのボルト・ナットのゆるみ	・増し締め
作業前	・ボルト、ナットのゆるみ ・部品の脱落、破損 ・回転部、可動部の給油 ・ギヤケース軸受部の油もれ	・増し締め ・補充、部品交換 ・「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 ・オイルシール、ダストシールの交換と給油
作業後	・機械の清掃 ホッパ内の肥料 ソコイタとシャッタの間の肥料	・「4-1 作業後の手入れ」に基づき清掃
シーズン終了後	・破損部 ・磨耗部 ・塗装損傷部 ・各部の清掃	・補修、部品交換 ・早めの部品交換 ・塗装または油塗布

2 各 部 の 調 整

1. シャッタ位置の調整

レバー全開時に肥料の落下口が全開となるよう、ロッドのネジ長さをフォークエンドで調整してください。

2. ソコイタとシャッタの隙間調整

シャッタオサエのボルトをゆるめ、隙間を少なくし、再度締め込みます。
この時レバーが軽く動くことを確認してください。

取扱い上の注意

ソコイタとシャッタの隙間が大きいと、肥料が詰まり、レバーが重くなります。

6 不調時の対応

万一、機械の調子が悪い場合は、不調処置一覧表により処置してください。

A 注意

- エンジンをとめずに行なうと、誤操作または第三者の不注意により、不意に作業機が回転し、思わぬ事故を起こすことがあります。
P T O クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行なうと、ティラーや作業機が不意に動き出して、ケガをする事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

1 不 調 処 置 一 覧 表

症 状	原 因	処 置
・シャッタの開閉レバーが軽く作動しない	・ソコイタとシャッタの間に肥料が詰まっている ・回動支点部が錆び付いている	・「4-1 作業後の手入れ」に基づき清掃 ・「5-2-2 ソコイタとシャッタの隙間を調整」に基づき調整 ・錆を取り除き、グリースを塗布
・肥料が出ない	・使用している石灰、肥料の水分が高い ・ホッパ内で肥料がブリッジ状になる	・ホッパ内部を清掃し、乾燥した石灰、肥料を使用してください ・「4-4 オプション部品」を参照しアジャーナにバーを取り付ける
・肥料がこぼれる	・肥料の落下口が全閉でない	・「5-2-1 シャッタ位置の調整」に基づき調整
・オイルが漏れる	・オイルシールが傷ついている	・オイルシールとダストシールを交換

原因や処置の仕方がわからない場合は下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

7 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ①製品名
- ②部品供給型式（型式）
- ③部品名称（部品表を参照してください。）
- ④部品番号（部品表を参照してください。）
- ⑤個数（部品表を参照してください。）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「④付」と表示している部品には、該当見出番号の部品が含まれております。

例

見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	92602	シャフト	④付
2	ONAS6	ケリースニップル;A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) B Z 0 8 1 5 A (G)
_____ | (メッキ仕上げ)

A ; ナット・スプリングワッシャ付

D ; ナット2個付

N ; ナット付

P ; ワッシャ付

W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の 、は、以下のことを表しております。

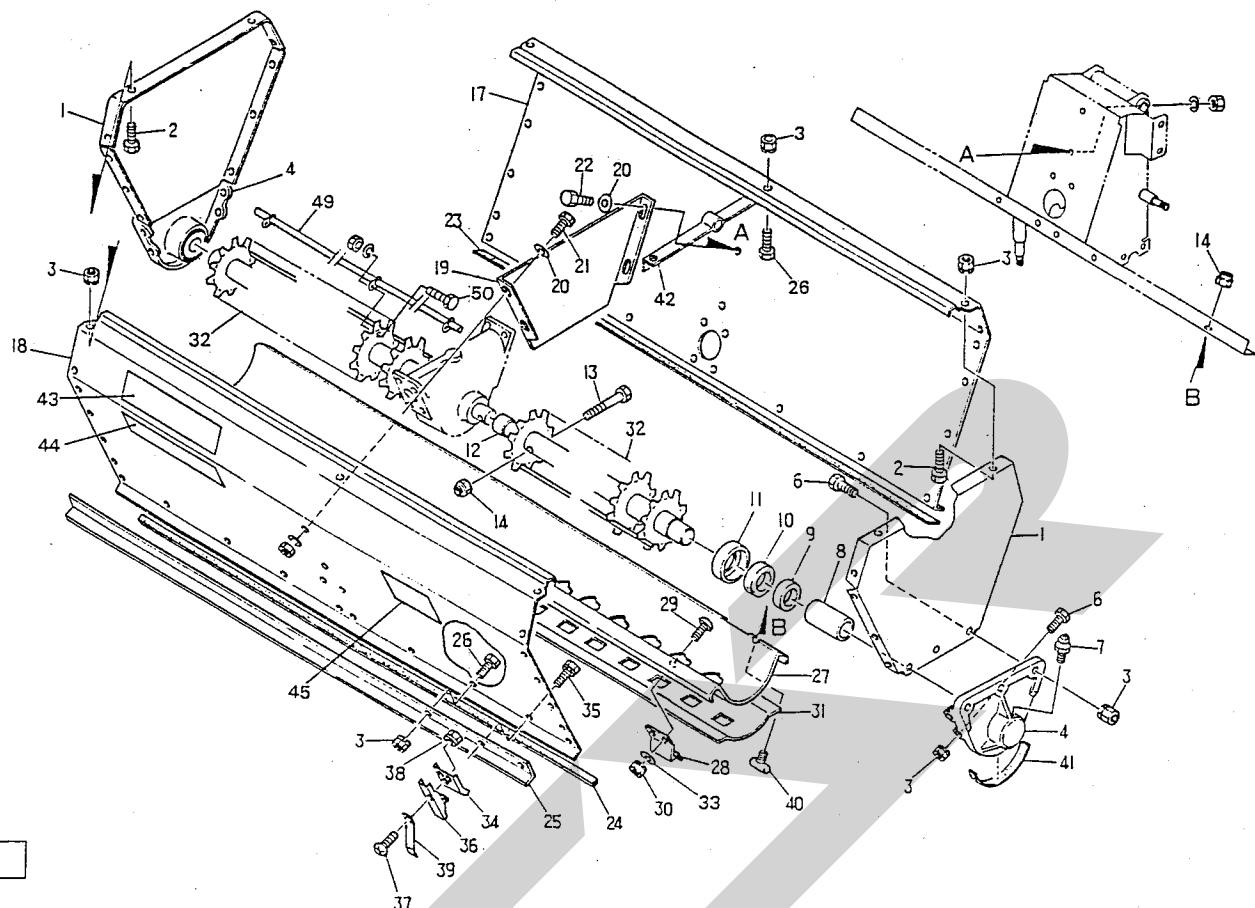
… シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品

… アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

補修部品の供給年限について

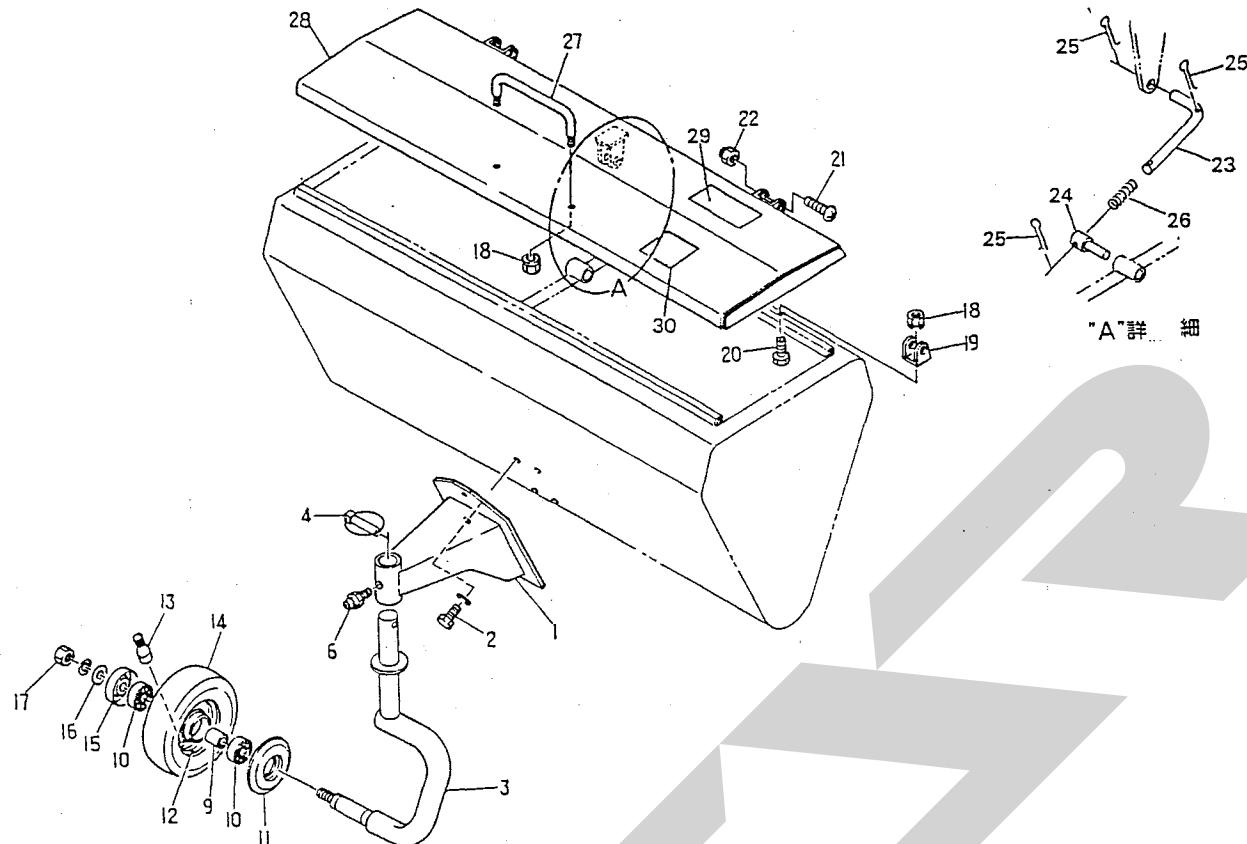
この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。



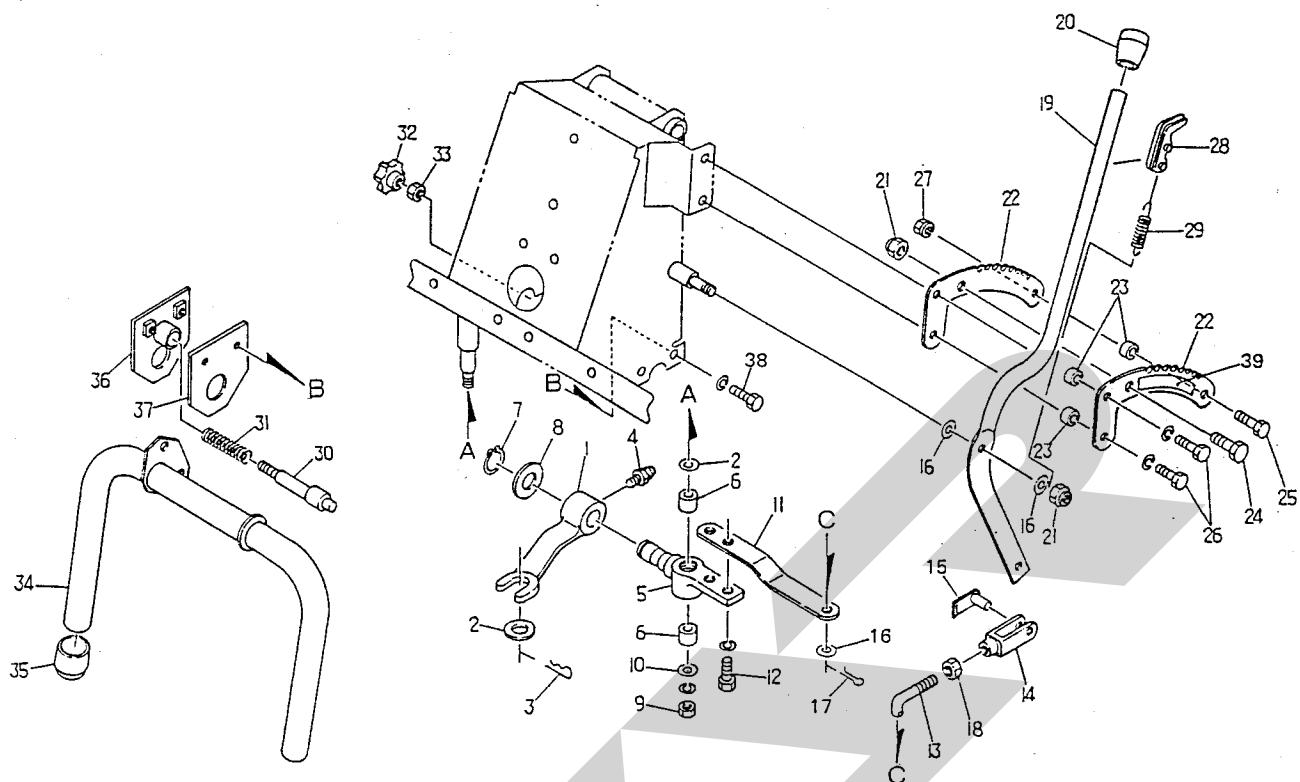
12587

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	90978	カガミイタ	2	29	CP0612G	ナベコネジ; M6×12	12
2	BZ0812G	ボルト; M8×12 (8.8)	20	30	NP06G	スプリングナット; M6	12
3	NP08G	スプリングナット; M8	36	31	90984	シャッタ; 1.2m	1
4	84512	ハウジング 見付	2	32	94477	アジテータ; 1.2m	2
				33	WRA06G	ワッシャ; M6	12
6	BZ0820G	ボルト; M8×20 (8.8)	10	34	84681	ブラケット	3
7	ONAS6G	グリースニップル; A-M6×1F	2	35	BP0820G	スプリングボルト; M8×20	3
8	76145	ブッシュ	2	36	84682	ビジョウ	3
9	S426210	オイルシール; S426210	2	37	CP0410G	ナベコネジ; M4×10	9
10	78583	フェルト	2	38	NP04G	スプリングナット; M4	9
11	78584	キャップ	2	39	84683	スプリング	3
12	75127	カラー	2	40	84684	アジャスタボルト	3
13	BC1060	ボルト; M10×60 (ステンレス)	2	41	84685	ゴムプレート; C	2
14	NN10G	ナイロンナット; M10	5	42	76354	ステー; A	1
				43	00839	STARマークラベル; 31.5 (アカ)	1
				44	104231	ラベル; ニューファームイトインブル	1
17	104128	ホッパ (A); 1.2m	1	45	106419	ラベル; ケイコ38	1
18	104129	ホッパ (B); 1.2m	1				
19	90982	シキリイタ	1	49	92546	バー (オプション)	4
20	WRA10G	ワッシャ; M10	4	50	BC0615A	ボルト; M6×15 (ステンレス) (オプション)	12
21	BZ1020AG	ボルト; M10×20 (8.8)	1				
22	BZ1025AG	ボルト; M10×25 (8.8)	3				
23	87420	ゴムプレート (A); 1.2m	1				
24	87421	ゴムプレート (B); 1.2m	1				
25	90983	アングル (B); 1.2m	1				
26	BZ0816G	ボルト; M8×16 (8.8)	6				
27	90981	ソコイタ; 1.2m	1				
28	75058	シャッタオサエ	6				



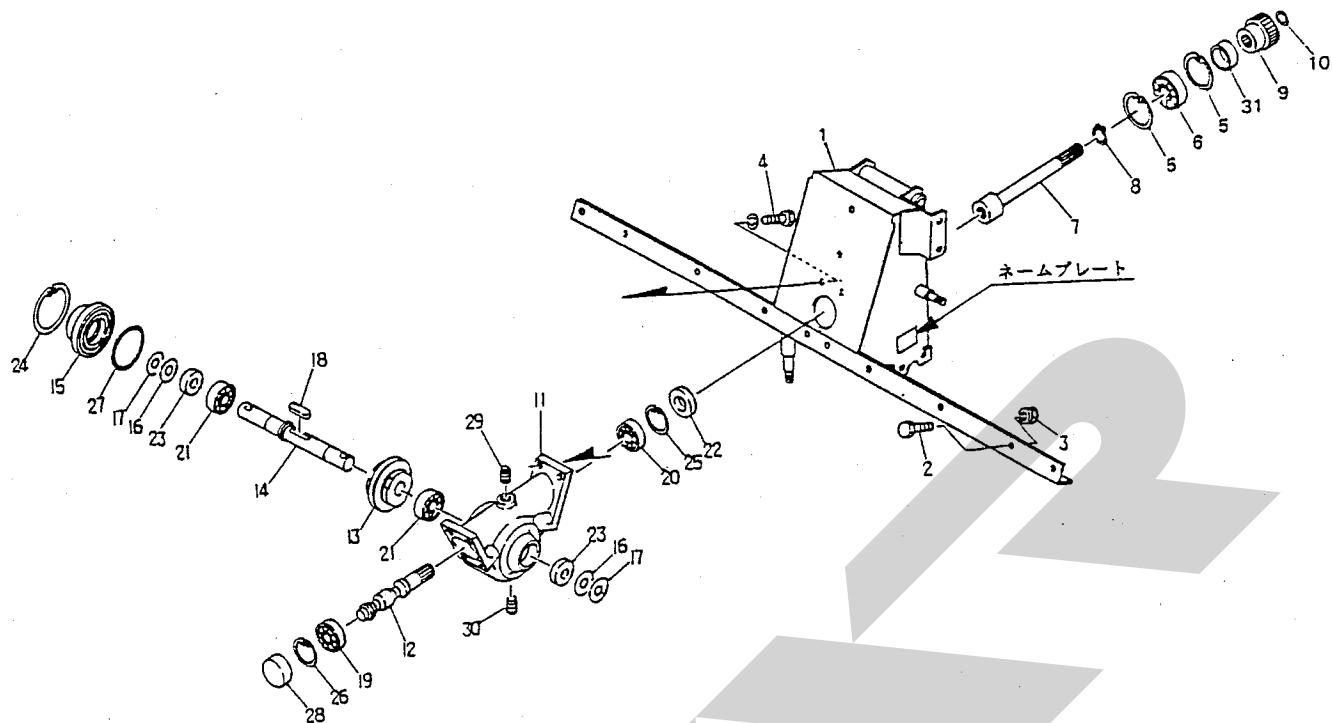
12588

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	94476	キャスター ブラケット (回り6付)	1	Asy	00509Asy	タイヤ(クミ) (回り12~14付)	1
2	BZ1025WG	ボルト; M10×25 (8.8)	4	29	104276	ラベル; 開度別散布量	1
3	94462	ホイールシャフト	1	30	106495	ラベル; ケイコク81	1
4	00739	リングピン	1				
5	ONAS6G	グリースニップル; A-M6×1F	1				
6	81226	カラー	1				
7	J6205LLU	ベアリング; 6205LLU	2				
8	00525	キャップ	1				
9	00504	ホイール; 3.50AX6DC	1				
10	RTR413	リムバルブシステム; TR413	1				
11	00509	タイヤ; 13×5.00-6-4PR	1				
12	00762	キャップ	1				
13	72968	ワッシャ; 14	1				
14	NZ14WG	ナット; M14 (8)	1				
15	NP08G	スプリングナット; M8	4				
16	34964	ブラケット; ホッパ取付	2				
17	BZ0816G	ボルト; M8×16 (8.8)	2				
18	CP0645G	ナベコネジ; M6×45	2				
19	NN06G	ナイロンナット; M6	2				
20	24268	ロッド (回り25付)	1				
21	75075	ロッドホルダピン	1				
22	PC3216G	ワリピン; 3.2×16	3				
23	24270	スプリング	1				
24	33378	グリップ (回り18付)	1				
25	75132	カバー	1				



12589

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数	
1	87404	アーム；B	(見付4付)	1	28	35022	ストッパー	
2	WRA16G	ワッシャ；M16	2	29	35027	スプリング	1	
3	00087	ベータピン；16×2.3	1	30	86287	ロックピン	(見付33付)	
4	ONAS6G	グリースニップル；A-M6×1F	1	31	67032	スプリング	1	
5	84687	ボス	(見付6付)	1	32	44289	ニギリ；M8	1
6	KBB1615	カーボンドライベアリング ；KBB1615	2	33	NZ08G	ナット；M8 (8)	1	
				34	104301	スタンド	1	
7	DC20	スナップリング；S20	1	35	00689	ニギリ；24	2	
8	57788	シム	1	36	90885	ブラケット	1	
9	NZ12WG	ナット；M12 (8)	1	37	90886	ブラケット	1	
10	WRA12G	ワッシャ；M12	1	38	BZ0820WG	ボルト；M8×20 (8.8)	4	
11	90988	アーム；クランク	1	39	35021	マーク；黒	1	
12	BZ1020WG	ボルト；M10×20 (8.8)	2					
13	88878	ロッド	(見付16~18付)	1				
14	79422	フォークエンド；10×40	1					
15	79423	ピン；10×40	1					
16	WRA10G	ワッシャ；M10	3					
17	PC3216G	ワリピン；3.2×16	1					
18	NZ10G	ナット；M10 (8)	1					
19	90987	レバー	1					
20	00688	ニギリ；20	1					
21	NN10G	ナイロンナット；M10	2					
22	35020	セクタ	2					
23	35028	パイプ；カラー	3					
24	BZ1050G	ボルト；M10×50 (8.8)	1					
25	BZ0845G	ボルト；M8×45 (8.8)	1					
26	BZ0845WG	ボルト；M8×45 (8.8)	2					
27	NP08G	スプリングナット；M8	1					



12590

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	104131	ヒッチ	1	29	PD20G	ロッカクプラグ；1/2	1
2	BZ0816G	ボルト；M8×16 (8.8)	6	30	PD40G	ロッカクプラグ；1/4	1
3	NP08G	スプリングナット；M8	6	Asy	94617Asy	ウォームボックス（クミ）	1
4	BZ1025WG	ボルト；M10×25	4			(見11~30付)	
5	DHC47	スナップリング；H47	2	31	36419	カラー	1
6	J6005LLU	ベアリング；6005LLU	1				
7	104130	シャフト	1				
8	DC25	スナップリング；S25	1				
9	104011	P T O ジョイント（オン）	1				
10	104012	リング	1				
11	90884	ギヤケース	1				
12	94469	ウォームジク	1				
13	94470	ウォームホイール	1				
14	90973	シャフト	1				
15	90935	キャップ	1				
16	76550	ダストシール	2				
17	76551	ダストシール	2				
18	KFC0707040	キー；7×7×40 (両丸)	1				
19	J6203	ベアリング；6203	1				
20	J6204	ベアリング；6204	1				
21	J6005	ベアリング；6005	2				
22	D20477	オイルシール；D20477	1				
23	D25408	オイルシール；D25408	2				
24	DHC90	スナップリング；H90	1				
25	DHC47	スナップリング；H47	1				
26	DHC40	スナップリング；H40	1				
27	ORG90	Oリング；G90	1				
28	RCA4010	シールキャップ；RCA40×10	1				







本 社	066	千歳市上長都 1061 番地 2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066	千歳市上長都 1061 番地 2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070	旭川市神楽 4 条 9 丁目 3 番 31 号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富出張所	098-41	天塩郡豊富町字上サロベツ 1191 番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-24	帯広市西 22 条北 1 丁目 12 番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見出張所	090	北見市小泉 302 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-11	標津郡中標津町北町 2 丁目 16 番 2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
盛岡営業所	020-01	岩手県盛岡市みたけ 2 丁目 4 番 7 号 TEL 0196-41-4811 FAX 0196-41-5529
仙台営業所	985	宮城県多賀城市町前 2 丁目 87 番地 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	307-02	栃木県小山市梁 2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-01	愛知県丹羽郡扶桑町大字高堆字南屋敷 191 TEL 0587-93-6868 FAX 0587-93-5416
岡山営業所	700	岡山県岡山市下中野 704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862	熊本県熊本市長嶺町 2255-429 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885	宮崎県都城市都北町 3537-1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644